

「ビーチコーミング研修」プログラム

帰着	①人数の確認をする。 ②健康観察を行う。 ③更衣等の諸連絡をし、解散する。 ④事後シートを配付する（必要に応じて活用する）。 ⑤貸し出し物品を交流の家（事務室）に返却し、研修が終わったことを報告する。	貸し出し物品の数量を確認する。
----	--	-----------------

【注意事項】

- ・班員とともに行動する。
- ・指導者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。
- ・体調が悪くなったら、早めに活動をやめ、指導者に連絡をする。
- ・体調不良者はビーチコーミングをしない。
- ・見学者は勝手な行動をしない。
- ・事故を目撃したら大声で知らせる。指導者、引率者に知らせる。
- ・決められた観察区域から出たり、海に入ったりしたりしない。
- ・岩場には付着した貝が多く、ケガをしやすいので、十分注意をする。
- ・危険物、不明な物を見つけた場合は、さわらない、採集しない。
- ・危険生物を見つけたら、さわらないで引率者を呼ぶ。
- ・石をひっくりかえす等して採集する場合、採集後には石をもとのように戻す。
- ・はだしになって活動をしない。
- ・トイレに行く場合は必ず指導者に伝えてから行く。

◆ 連絡先

	一般電話番号	緊急通報用電話番号
江田島消防署（救急係）	TEL 0823-40-0358	119
江田島警察署	TEL 0823-42-0110	110
第六管区海上保安本部	TEL 082-251-5111	118
江田島青少年交流の家	TEL 0823-42-0660 0823-42-0661	



例①カニの殻



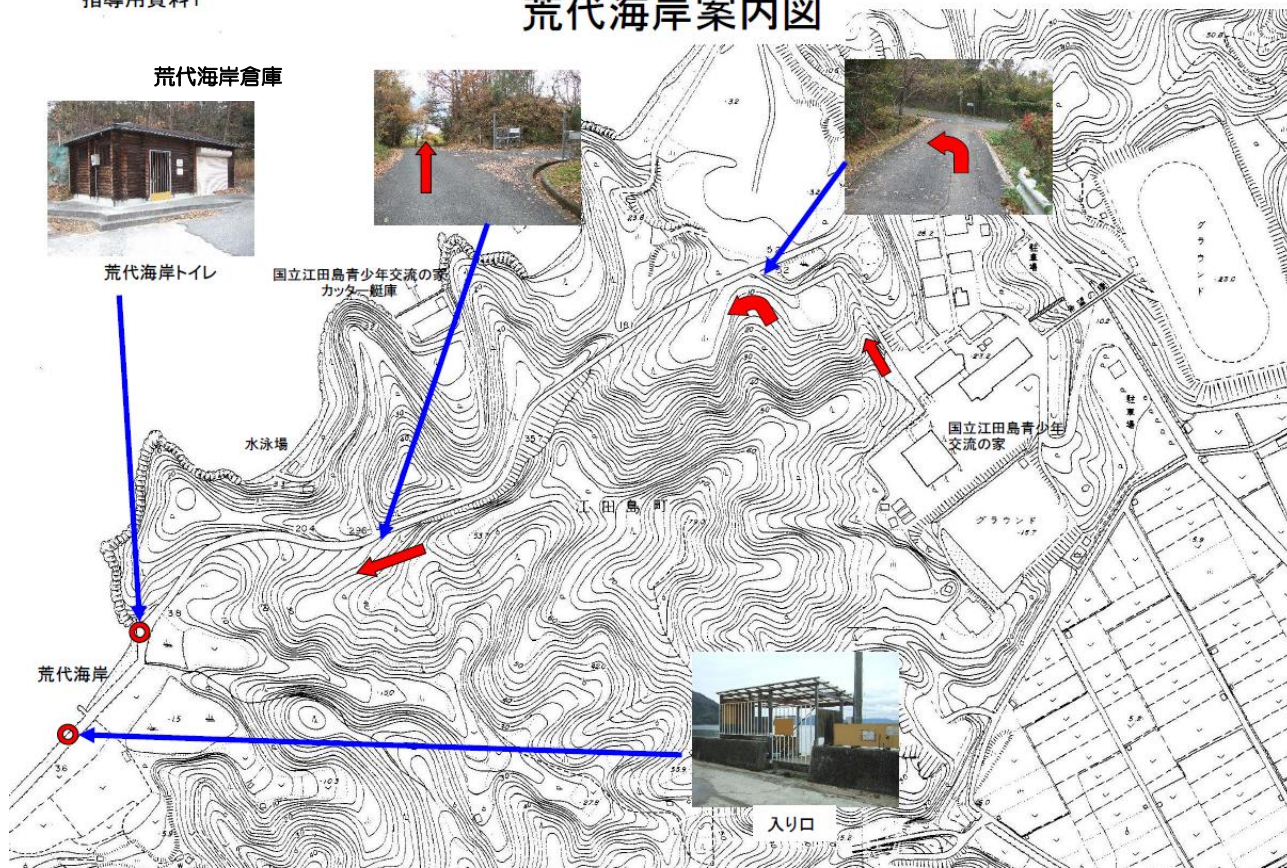
例②二枚貝の貝殻

ビーチコーミング研修



指導用資料1

荒代海岸案内図



国立江田島青少年交流の家

「ビーチコーミング研修」プログラム

◆ 概要

本所施設から徒歩約 20 分の荒代海岸で、漂着物の採集ができる。
団体指導者が、研修指導を行う。

◆ ねらい

- 漂着物の採集・分別を通して、海辺の環境を知る。
- ビーチコーミングの活動から、現在の海辺の環境状態を把握し、未来の海をイメージすることで、環境について考えるきっかけにする。



◆ 指導者、人数など

対象	小学4年生以上 (保護者又は引率指導者と活動する場合は 3年生以下でも実施可能)
指導	引率指導者
人数	最大 100 人まで
実施時間	干潮時潮位 60cm 未満の日 干潮時刻の前後 1 時間
実施場所	荒代海岸
実施時期	5~11 月



◆ 準備物

個人	交流の家（事務室）※必要に応じて	交流の家（荒代海岸倉庫）
濡れてもよい靴（長靴可）	ハンドマイク（任意）	バケツ（60）
軍手	ホワイトボード、マーカー等	分別用ジャンボバスケット（5）
タオル	海辺の危険生物のシート（班に	分別用ブルーシート（1）
帽子	1つ）	分別用コーン（3）
飲み物	ビーチコーミングビンゴ	ブルーシート用おもり（4）
バインダー、筆記用具等	海のイメージワークシート（事前）	分別用テープ（2）
バケツ ※必要に応じて	未来の海ワークシート（事後）	荷物用ブルーシート（1）
		救急箱（救急法の基礎知識 1 冊）
指導者		【片付け用備品】
ホイッスル		片付け用ジャンボ四角タブ（5）
連絡用携帯電話		手足洗い用シャワーホース（2）

◆ 展開

	団体指導者の動き	職員の動き
実施前	①交流の家（事務室）から必要物品を受け取る。 ②つどいの広場（海洋研修室前）に班毎に整列させる。 ③健康観察を行う。 ④参加者、見学者、引率者の人数、名前を確認する。 ⑤職員に出発を知らせ、荒代海岸に移動する。 ⑥班毎に 2 列縦隊で荒代海岸に移動する。 ⑦荒代海岸の倉庫からビーチコーミングに必要な使用備品を職員から受け取る。	準備物を貸し出す。

「ビーチコーミング研修」プログラム

事前指導	<p>①浜辺に班毎に整列させる。 ②健康観察をさせる。 ③人数の確認をする。 ④目的及び活動の留意点の説明をする。 ※事前シートを活用し海について考える時間を設定する。 ⑤自然物と人工物について例示するとともに、ゴミがどういったものか、意見を交流し、共通理解を図る。 ⑥注意事項を説明する。 ※下記の【注意事項】を必ず伝える。 ⑦ビーチコーミング（及び、ビーチコーミングビンゴ）の時間の設定及び活動範囲、活動に適した場所について説明をする。 ⑧バケツ、海辺の危険生物のシートを班に配布する。 ⑨危険生物の説明をする。 ※ビーチコーミングビンゴを実施する場合、バインダー、筆記用具を準備し、ビンゴに記入する。</p>	
観察活動	<p>①研修生に軍手を装着させ、班毎にビーチコーミング（及びビーチコーミングビンゴ）を開始する。 ②監視担当者は配置につく。 ③定期的に物品がそろっているか確認する。 不足している場合は班で探させる。 ④ビーチコーミング（及びビーチコーミングビンゴ）を終了し、集合させる。 ・整列・人数確認、健康観察を行い、総括責任者に報告する。 ※ビーチコーミングビンゴを実施する場合、見つけた漂着物を確認し、ビンゴに記入する。また、どれくらい見つけることができたかについて評価する。 ⑤班毎に採集物を、確認し、理由を考え、分別する。 ⑥分別用ブルーシート上に、人工物、自然物を分けて置く。 ・不明な漂着物がある場合は、自然物、人工物以外に不明「？」のコーナーを設定し、そこに置いておく。 ・交流（気になった漂着物について、意見を述べたり、質問したりする）をする。感想を述べる。 ・「？」にある漂着物について、意見を聞く。 ⑦まとめをする。 ※海の現状を知り、環境的な視点で、未来にどのような海に行きたいかを考える。（ワークシート）</p>	
活動後	<p>①採集した漂着物を片付ける。 ・自然物は、海岸に返す。 ・人工物をジャンボバスケットに分別する。 （ビン・缶、プラスチック、金属等に分ける。） ・クラフトで活用する場合は、必要な物を袋に入れて持ち帰る等指示を出す。 ②貸し出された物品を回収・数量確認・洗浄し、職員と確認して、倉庫に収める。※ジャンボタブを使用して、丁寧に洗う。 ③トイレの掃除をする。交流の家に研修の片付けの連絡をする。 ④参加者の手足を洗う（ホースシャワー使用）。 ⑤持参した物品を必ず持ち帰る。 ⑥片づけに使用した備品を片付ける。</p>	備品を確認する。
移動	<p>①班毎に整列させる。 ②健康観察を行う。 ③人数を確認する。 ④2列縦隊で交流の家へ移動する。</p>	